

すぎなみ

歩きながら、元氣と文化が、すぎなみ
生まれる街。



新春対談
山田区長
青木区議会議員
石川 遼さん



ジェイコム東京2(デジタル11)チャンネル
1月1日(祝)・2日(金)=9時・18時・23時▷3
日(土)・4日(日)=9時・16時・23時▷5日(月)・6
日(火)=9時・18時・23時▷7日(水)=9時・12
時・18時・23時▷8日(木)・9日(金)=9時・18
時・23時▷10日(土)=9時・16時・23時

発行/杉並区
編集/広報課
〒166-8570杉並区阿佐谷南1-15-1

区の代表電話 ☎3312-2111
FAX3312-9911 (広報課直通)
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

暮らしのちょっとしたお問い合わせは
☎#8800または☎3372-8800
区役所いつでも電話サービス

「区議会だより」が折り込まれて
います

応援しよう!
すぎなみの
農業

区内には200軒近くの農家がある
ことをご存じですか?
安全で安心な商品を届けるた
めに頑張っている農家の皆さ
んを紹介します。

写真(4点)は、杉並ふれあい農業推進フォトコンテスト(20年8月~10月に募集)の入選作品です。

「遠くを見すえ、 今を固める」一年に

杉並区長

山田 宏



あけましておめでとうございます。年があらたまり、清々とした気持ちで元旦をお迎えになられたことと思います。昨年、杉並区政に對しまして多くのご協力をいただきありがとうございます。本年もどうかよろしくお願いたします。

昨年は「戊子(つちのえね)」の年で、それまでの行き方でも良いものも悪いものも「繁茂する年」と年初に述べてきましたが、まさに後半は世界金融危機から日本経済も厳しくなり、また餃子事件など「食」をめぐる問題や病院の診療拒否など人のいのちに関わる事件、そして国内外のテロの発生など、これまでの私たちの行き方への警鐘とも思える様々なことが起きました。

そんな中、杉並区は行財政改革を進め、区の借金である区債残高も二四五億円と、平成12年の九四二億円から大幅に削減される見込みとなるなど、区の経営理念である「小さな区役所で五つ星のサービス」実現に向けて着実に前進してきました。土曜議会・土日開庁も始まり「24時間365日サービス」へさらなる一歩を踏み出し、また都内で初めて全小学校の三〇人程度学級が開始されるなど「教育立区」づくりも進みました。

さて今年の「己丑(つちのとうし)」という年は、繁茂して生まれた乱れを、筋を通して正す「紀律の年」と言われます。昨年は山田区政一〇年目の節目として、これまでの事業を見直す「杉並改革総点検」を行いました。今年

はその成果を生かしてどんな荒波も乗り越え、しっかりと区民生活を守り発展させる区政を進めたいと思います。特に特養などの介護サービスの充実や元氣高齢者を支える「長寿応援ポイント制度」の創設、待機児解消に向けた保育サービスの拡充、そして救命救急医療体制の整備など安全・安心の施策に重心をおいて、「長寿が喜ばれ、赤ちゃんと生まれてにぎやかな杉並区」をめざすとともに、厳しい経済環境に對した区内中小企業の支援体制にも力を注ぎます。

しかし「紀律の年」は、足元だけ見ているはうまくいかないと思います。これまでの世界や私たちがとられていたかもしれない行き方、つまり「今さえ、自分さえ」という姿から、「今も将来も、自分も皆も」という正しい行き方に転換していく必要があるように思うのです。その意味で私は、杉並区には長期的なビジョンである「減税自治体構想」どの時代にも通用する教育理念としての「教育基本条例」、そして企業クラウドなどを活用し、生垣などを創生した「まちづくり百年の計」など、「今も将来も、自分も皆も」豊かになっていく長期の目標が必要と考え、その「将来発展の種」もまいていきたいと思えます。

「遠くを計るものは富み、近きを計るものは貧す」これは二宮尊徳翁の言葉ですが、今年にはまさに「遠くを見すえ、今を固める」そのような一年にしたいと決意しております。

都市農業を 理解してもらいたい

池田千宏さん (下高井戸4丁目)

父親の後を継ぐため、勤めていた会社を辞めて、まったく経験のない農業を始めた池田さん。八百屋の店先に並ぶようなものは大体作っています。自分の畑で即売会をするほか、あぐり〜ん(下記事参照)などでも販売しています。

「都市農業を理解してもらうために、サツマイモについてはほとんど、地域の学校の皆さんに芋掘りをしてもらっています。また、栗やキウイを育てて、季節には、地域の皆さんに栗拾いやキウイ摘みを楽しんでもらっています。芋掘りをした小学生からお礼の手紙をもらったりすると、



▲ここで梅もぎを楽しめる予定



うれしいですね。今、南高梅を育てていますが(左下写真)、今度は、梅もぎもやりたいと思っています。」と池田さん。

現在、JA東京中央城西地区で青壮年部長を務める池田さん。青壮年部では、区内の農業を知ってもらうために、収穫体験を開催しています(下記参照)。

「都市の中で緑地を維持しようと頑張っている人がいるということ、区民の皆さんに理解してもらいたい。そのために、農業体験してもらったり、学校給食へ野菜を提供したりと、地域に貢献できることをしていきたいと思っています。」と話してくれました。

応援しよう！すぎなみの農業

～区内で頑張っている皆さんを紹介します



区の農業は、新鮮で安全な野菜や草花、植木などを生産・提供するほか、緑豊かな農地が、生活環境に潤いと安らぎを与え、また、災害時のオープンスペースの確保など、区民の皆さんの生活に大きな役割を果たしています。

近年、特に食の安全性、食料自給率や環境の問題に関心が寄せられ、農業に対する期待はますます大きくなっています。区は、農家や区民の皆さんと力を合わせて、都市農業の発展と農地保全に努めています。また、今年度は新たに、区内産農産物を学校給食に提供する「地元野菜デー」を実施し、地産地消・食育の推進に取り組んでいます。

新しい取り組み

学校給食で 「地元野菜デー」



【地元野菜デーとは】

学校給食の食材に区内産の農産物を活用することで、子どもたちが農産物や都市の中の農業に関心を持ち、学校給食を食育の教材として充実させていくことを目的に、20年度から始めました。産業経済課と学務課が連携したこの事業では、多くの学校で、地元野菜を給食に活用していきます。学校によっては、農家の方による授業を行いました。

杉並第九小学校で授業がありました

20年11月25日(火)、杉並第九小学校(本天沼1-2-19)では、井草2丁目にてトマトを栽培している森田さん(右記事参照)を3年生の授業に迎えました。授業では、10月に森田さんの畑を見学した子どもたちから、「直売の売り上げは1日にどれくらい?」「風邪をひいてしまったときは、だれが野菜の世話をするの?」「植えた野菜が別のところから生えてきてしまうことはありますか?」など、自由で活発に、多くの質問がありました。

授業のあとは、森田さんを囲んで、区内産野菜

を使った給食をおいしく食べました。お楽しみの給食のメニューは、栄養士・調理の方が工夫を凝らした、サツマイモご飯のおにぎり、沢煮糰子(大根の千切り入り)、サンマの姿煮、ホウレン草の磯和え、牛乳、そしてランチルームには特別メニューで大根の葉っぱの炒め物が付きました。みんな、元気に「おかわり」をしていました。野菜を作ってくれた森田さん、おいしく調理してくれた皆さんに「ありがとう」を言って、給食は終わりました。皆さん、おいしかったですね!



▲この日の区内産野菜はサツマイモと大根



杉並区の農家は健在！ 頑張っています

鈴木宗孝さん(上高井戸2丁目)

区内農家後継者の会「杉並区グリーンクラブ」で会長を務める鈴木さん。25年の歴史を持つグリーンクラブでは、26名の会員たちが、年間5、6回の即売会の実施をはじめ、農業を減らして虫を駆除する方法や、品種についての講習会、先進事例の視察会など、日々、農業の普及や農作業の改良について勉強をしています。また農業祭では、先輩農家の方が船頭さんになり、野



▲野菜の宝船に使うための赤い大根も育てています



菜の宝船づくりもしています。農業を始めて約14年の鈴木さん。年間延べ40〜50品目の野菜を作り、自分の畑で直売もしています。

「畑に直売所があり、常に見られていることで意欲を感じています。なるべく葉などを使わずに、良いものを作りたいです。勉強不足で、なかなか、自分が満足するものは作れません。毎日が勉強です。」と鈴木さんは話します。「杉並区の農家は健在で、頑張っています。安全安心な野菜・花・植木を提供していきますので、応援をよろしくお願いします。」と力強く、笑顔で話してくれました。

抱えきれないほど収穫できました

親子で野菜収穫体験



20年12月6日(日)、上高井戸1丁目の畑(2面右上の鈴木さん所有)で、約20組の親子が野菜の収穫体験を楽しみました。

この催しは、JA東京中央城西地区の青壮年部が、区内の農業のことを知ってもらうために19年度から始めた事業で、食育をテーマにした、区内農業の活動発表の場でもあります。19年度は1回開催し、20年度は、6月にジャガイモを収穫しました。2回目の今回は、大根・カブ・ニンジン、そして予定外でしたが、ネギも収穫しました。

少人数のグループに分かれた参加者の皆さんは、グループごとに付いてくれた区内農家の方に野菜の抜き方などの指導を受けながら、収穫を楽しみました。帰り際に、「また、参加したい!」と力強く宣言していくお子さんもいたくらいです。

みんな、自分で採った野菜を、どんな料理にして食べたのでしょうか? 子どもも親も、うれしい笑顔であふれた催しでした。



区内産の新鮮で安全な 採れたて野菜と元気な 草花をお届けします!



農家の方が当番で店頭にいますので、野菜の調理方法など、気軽にお尋ねください。

【日時】毎週火・木・土曜日の午後2時〜4時(売り切れ次第閉店)
【場所】阿佐谷南3-13-2
【問い合わせ】☎5349-8791

JA東京中央
杉並グリーンセンター直売所

ファームショップ あぐり〜ん



▲開店前には行列が。開店後30分経たないうちにほぼ売り切れることも



▲壁面には生産者の写真と住所が掲示してあります
▼商品にも生産者の名前が表示されています



開催時期は変更になる場合もあります。「広報すぎなみ」区ホームページ、各主催者発行のチラシなどでご確認ください。
A東京中央杉並グリーンセンター ☎5349-8791

12月 12月
JA東京中央杉並中野地区青壮年部主催「駅前即売会(農協主催)」(阿佐谷南3-13-2) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2
JA東京中央城西地区青壮年部主催「駅前即売会(農協主催)」(阿佐谷南3-13-2) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2
JA東京中央杉並中野地区青壮年部主催「駅前即売会(農協主催)」(阿佐谷南3-13-2) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2



▲野菜でできた宝船(20年11月農業祭)

11月中旬 11月初旬
JA東京中央城西地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2
JA東京中央杉並中野地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2

10月下旬 10月中旬
JA東京中央城西地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2
JA東京中央杉並中野地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2

7月中旬 7月初旬
JA東京中央城西地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2
JA東京中央杉並中野地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2

6月 5月中旬
JA東京中央城西地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2
JA東京中央杉並中野地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2

3月下旬 3月中旬
JA東京中央城西地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2
JA東京中央杉並中野地区展示即売会(農協主催) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2

毎週火曜日 毎週土曜日
JA東京中央杉並中野地区青壮年部主催「駅前即売会(農協主催)」(阿佐谷南3-13-2) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2
JA東京中央城西地区青壮年部主催「駅前即売会(農協主催)」(阿佐谷南3-13-2) 阿佐谷南3-13-2 阿佐谷南3-13-2

年間の各種催し〜即売会など

安全・安心・採れたての「旬の野菜」を味わってほしい

ファーム荻窪園主
武井 三郎さん(荻窪1丁目)

農業を始めて60年以上という武井さん。高齢になり、農作業が大変になってきたころに体験型農園について紹介を受け、「やってみよう」と16年度から体験型農園「ファーム荻窪」を始めました。



年間計画に基づいて、春と秋で30種類以上の作物を育てます。最初の準備、種まきや植え付けなどの講習会を開催するので、初心者でも大丈夫です。金曜日の午後、土曜日の午前・午後、日曜日の午前というように3日間で4回開催します。参加できないときは作業が遅れてしまうので、家族に参加してもらうこともよいでしょう。

参加者は、住まいの地域、年齢、仕事をしている方、お子さんがいる方など、さまざまです。お子さんがいる方は、一緒に作業を楽しんだりしています。「自分の作った物だから安心。野菜を食べなかったお子さんが、お父さん、お母さんが作った物だから食べるようになった、という話も聞きます。」

農園をやっているうれしいのは、収穫した野菜を食べて「おいしかった」、「お店で買うものよりおいしい」、「こんなにおいしい野菜は食べたことがない」などの感想をもらうことだと話してくれました。



◇**利用期間**
3月中旬～22年1月31日(更新は園主との相談で、最長4年です)

◇**利用場所**
ファーム荻窪(成田西3-18)

◇**申し込み資格**
区内在住の20歳以上

◇**申し込み**
往復ハガキ(一世帯につき一枚)に①「体験型農園利用申し込み」②郵便番号・住所③氏名(フリガナ)④年齢⑤電話番号⑥返信用あて先を書いて、1月20日(消印有効)までに農園主・武井三郎(〒167-10051荻窪1-15-11)へ

◇**抽選方法**
区が立ち会い、園主が抽選を行います。結果は2月中旬にお知らせします。

◇**ご注意**
①体験型農園は、区画の貸し出しではありません。栽培する作物の選定などは園主が行います②車での来園はできません③区は体験型農園を直接管理しません④3月7日(土)に利用者説明会を行います(当選者には別途通知)

仲間と交流を楽しみながら農業体験

区産業経済課都市農業係

体験型農園は、区の援助を受けて農家が開設し、経営・管理する農園です。農園主の指導を受けながら、作付け(畑に作物を植える)から収穫までの農作業を体験できるので、初心者でも安心です。また、農作業の講習は週末を中心に行いますので、お勤めの方でも楽しみながらいろいろな野菜作りを体験することができます。あなたもプロの手ほどきを受けて野菜作りに挑戦してみませんか。

上で週一回以上農園に来ることができ方(家族以外のグループでの参加は不可)

◇**定員**
六〇名(抽選)

◇**利用区画**
一区画約三〇㎡

◇**利用料**
年間四万円(指導料・収穫野菜代など) ※種・苗・肥料・農具は園主が用意します。利用料は更新の際、変更することがあります。

◇**申し込み**
往復ハガキ(一世帯につき一枚)に①「体験型農園利用申し込み」②郵便番号・住所③氏名(フリガナ)④年齢⑤電話番号⑥返信用あて先を書いて、1月20日(消印有効)までに農園主・武井三郎(〒167-10051荻窪1-15-11)へ

楽しく仲間づくりができる農園です

現在の体験型農園利用者(1月末まで)にお話を伺いました。

働いていたころから自然に興味があったという山口さん(写真左から2番目)。ボランティアとして園主・武井さん個人の畑のお手伝いもしています。

20年中は、春に6回、秋に4回、種をまいたり苗を植えたりするときに講習会がありました。講習会には必ず参加してほしいと山口さんは話します。

「種も、野菜の種類によって浅くまいたり深くまいたり、まき方一つで出来が違います。」

交流を深めるために、交流会が年2回あり、いろいろな世代の方が集います。

「農園は、農作業が1つの目的ですが、利用者同士の交流も大切な目的です。」と山口さん。

加藤さん(写真右の2人)は、夫婦そろって参加しています。



「皆さん、最初はシャベルや鍬などの道具うまく使えませんが、講習会で基本的なことは教えてくれます。素人でも大丈夫です。分からないことは、ほかの方に聞くと、皆さん懇切丁寧に教えてくれます。」とご主人。「農園に来ると元気をもらえます。育てた物がだんだん大きくなり、採れるのが楽しみで、さらに元気になりました。」とうれしそうに話す奥さん。

植物などを育てることに興味があり、基本のやり方を知りたくて参加した古宇田さん(写真左)。

「手を抜いてしまうと作品(野菜)にあらわれます。そんなときは、『ごめんね』と思います。」

皆さん、農園で知り合った仲間と交流しながら、農業体験を楽しんでいます。

ふれあい農業 すぎなみ

～農産物直販マップ～



農産物を直販している農家(60軒)、芋掘り・うね売り農家、区民農園がわかるマップです。

区の農業振興や農地保全のための事業や、農産物即売会も紹介しています。

区ホームページから取り出せるほか、産業経済課都市農業係(区役所西棟10階)で配布しています。

マップを片手に区内の農家を巡り、新鮮な野菜をお求めになるのはいかがでしょうか。



郷土博物館の新年行事

◇新春吉例「大宮前囃子」



▲大黒舞

◇年中行事

「まゆ玉飾り」

小正月に、蚕や農作物の豊作を祈る「まゆ玉」または「まゆだんご」とよばれる行事があります。これにちなんで、古民家にまゆ玉飾りを展示します。土日の午後は囲炉裏に火が入り、懐かしい雰囲気味わっていただけます。

時 1月11日(日)午後5時～18日(日)午後5時

場 郷土博物館(大宮1-20-8)

料 当日、直接会場へ(費100円(観覧料。中学生以下無料))

大宮前囃子は、宮前地域に古くから伝わる民俗芸能で区の登録無形民俗文化財です。舞を披露するのは、大宮前郷土芸能保存会の皆さんです。時 1月10日(土)午後2時

成人祝賀のつどい

【月日】 1月12日(祝)
【場所】 杉並公会堂(上荻1-23-15)
【内容】 式典、記念アトラクション(プラザートムによるミニコンサート)
【対象】 昭和63年4月2日～平成元年4月1日生まれで区内在住の方

お住まいの地域(町名)ごとに次の時間にお越しください。

- ①午前10時30分～11時30分(10時開場)
天沼、井草、今川、荻窪、上井草、上荻、清水、下井草、松庵、善福寺、西荻北、西荻南、本天沼、南荻窪、桃井
 - ②午後1時～2時(0時30分開場)
阿佐谷北、阿佐谷南、梅里、高円寺北、高円寺南、成田西、成田東、堀ノ内、松ノ木、和田
 - ③午後3時30分～4時30分(3時開場)
和泉、永福、大宮、上高井戸、久我山、下高井戸、高井戸西、高井戸東、浜田山、方南、宮前
- 該当者には、20年12月中旬に案内状をお送りしました。



区児童青少年課青少年係 ☎3393-4760

(発行日) 毎月1日、11日、21日

